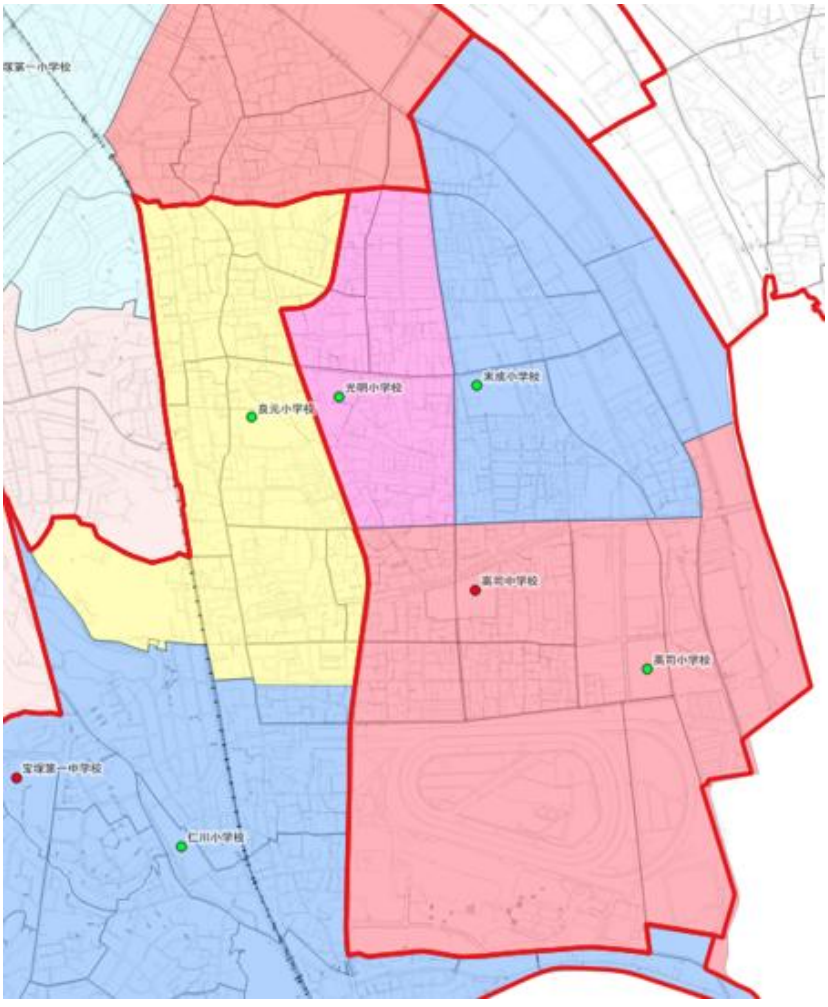
光明小学校・末成小学校の学校統合に係る意見交換会での協議報告

日時	令和8年（2026年）8月29日(土)14:30～16:30
場所	光明小学校4階　多目的室
出席者	光明地区　自治会、まちづくり協議会、PTA、学校運営協議会（コミスク）　23人 末成地区　自治会、まちづくり協議会、PTA、学校運営協議会（コミスク）　16人 その他2人 光明小学校　校長、教頭 末成小学校　校長、教頭 市民交流部　　部長、次長、 市民協働推進課2人 子ども未来部　部長 健康福祉部　協働の取組推進担当次長（光明地区） 教育委員会事務局管理部　部長、次長、教育環境整備課5人
次第・議事	1　開会 2　教育委員会事務局からの説明 3　意見交換 4　閉会
主な結果（概要）	
事務局	**【1　開会】** 定刻になったので、光明小学校・末成小学校の学校統合に係る意見交換会を開催する。本日はお忙しい中、意見交換会にご出席いただき、ありがとうございます。学校統合に係る意見交換会ということで、本日は自治会、まちづくり協議会、PTA、学校運営協議会の方々にご参加いただいている。 ～行政側紹介、学校側紹介～ ～資料確認～ それでは資料1をご覧いただきたい。 **【2　教育委員会からの説明】** **1　これまでの経緯** 教育委員会では、光明小学校は平成30年度から全学年単学級の状況にあることを踏まえ、子どもたちにとってよりよい教育環境をどのように確保していくかということで検討を進めてきた。今年3月以降、PTA、保護者、地域の皆様などに教育委員会が学校統合を検討していることについて、順次ご説明し、様々なご意見を伺ってきた中で、認識の違いや情報の独り歩きを防ぐためにも、関係者が一堂に会して、同じ情報を共有した上で、課題を出し合い、意見を言いながら課題の解消を図れるような場を設けてほしいとのご意見をいただいた。そのようなご意見を踏まえ、本日の会議の場を持たせていただいた。教育委員会から現在の検討状況を報告し、この後、皆様からご意見を伺いたいと思うので、よろしくお願いする。 **2　光明小学校の現在の教育環境** 昭和54年に末成小学校から分離開校し、開校当初は700人ほどの児童がいたが、少子化の影響で児童数が減少し、令和8年5月1日現在の児童数は177人という状況である。小規模校には、学年全体を一体的に指導しやすい、児童同士の関係が密接になりやすいなどの良さがあるが、一方で、クラス替えができないことや、人間関係が固

	定化しやすいこと、集団で行う教育活動の選択肢が限られる場合があることなど、一定の課題もある。教育委員会としては、単に児童数が少ないから統合するという考えではなく、子どもたちが義務教育9年間を過ごす中で、多くの友達や考え方に触れ、様々な人間関係を築きながら学ぶことができる教育環境をどう確保するかという視点で検討してきた。 **3 なぜ学校統合を検討しているのか** 学校統合を検討している理由は主に4点ある。 1点目は、一定の集団規模の中で多様な考えに触れる機会を確保することである。 2点目は、多様な人間関係を築く機会を確保することである。 3点目は、集団で行う教育活動をより充実させることである。 4点目は、将来にわたって安定した教育環境を確保することである。 教育委員会では、校区変更による学校規模の調整も検討したが、周辺校もそれほど規模が大きくなく、校区変更しても、いずれ学校統合が必要になることが想定されることから、今回、学校統合による学校規模の適正化の手法をとっている。 **4 光明小学校と末成小学校の学校配置について**  光明小学校周辺の学校配置図をこちらに記載している。真ん中のピンク色着色部が光明小学校区で、末成小学校は右横の青い部分になる。太い赤線が中学校区である。光明小・末成小・高司小学校が高司中学校という中学校区になっている。光明小学校と末成小学校というところなのだが、両校の位置関係であるとか、児童数の状況、統

	合した場合に末成小学校の施設で光明小学校の児童を受け入れることが可能かどうか、地域との繋がり、光明小学校が末成小学校から分離開校した歴史的な背景など、複数の視点から検討をしている。良元小学校も隣接はしているが、間に交通量の多い中津浜線が通っていることや、良元小学校の学校施設の状況から、末成小学校との学校統合を今回考えている。こうした条件を総合的に考え、光明小学校と末成小学校との統合と整理をしている。 **5　統合の時期について** 令和10年4月1日で学校統合に向け、必要な予算面などの教育委員会での手続きを進めているところである。そのため、令和8年度は方向性や課題を共有し、必要な準備を進める期間とし、令和9年度は具体的な統合準備や施設整備を進める期間になる。一部施設整備が令和10年に残るが、その説明は後でさせていただく。 **6　光明小学校・末成小学校の児童数の見込み** こちらの表は、令和8年度から令和11年度までの光明小学校と末成小学校の児童数の見込みを示したものになる。令和8年度は先ほど申し上げたように、光明小学校は177人で、通常の学級が6学級、特別支援学級が3学級の9学級、末成小学校は児童数が414人で通常の学級13学級、特別支援学級6学級の計19学級という形になる。 これが令和10年4月に統合という形になると、両校の児童合わせて617人、通常の学級は19学級、特別支援学級が10学級の計29学級と見込んでいる。こちらの見込みの数字なのだが、特別支援学級については、何人の子が入ってこられるかどうかが読めないことから、令和8年度の実績値をそれぞれ令和9年度・令和10年度・令和11年度に設定している。 **7．末成小学校の受入れに向けた施設整備** 光明小学校の児童を末成小学校で受け入れるためには、必要な普通教室数や特別支援学級の教室を確保することに加え、教育活動の校内動線など、学校生活全体を見渡して検討していく必要がある。光明小学校の児童を受け入れることで、通常の学級が6教室、特別支援学級が4教室さらに必要となるので、普通教室を確保していく工事が必要となる。 工事のスケジュールとしては、令和9年1月から7月まで工事設計をし、令和9年度の冬休みから3学期にかけて工事を実施する。そして令和10年度の夏休みに残りの工事を実施する。具体的な改修内容については工事設計の中で整理をしていく。 ただし、こちらはあくまで現段階での予定であり、今後変更が生じるかもしれないことはご承知おきいただきたい。工事を行う場合には、もちろん児童の安全を最優先に考え、工事区域と児童の動線を分けること、騒音・振動への配慮、工事車両の安全管理、授業や学校教育への影響をできるだけ抑えることなどについて、学校と工事関係者が継続して調整をしていく。 **8 統合に向けて想定される課題** 学校統合を進める場合、施設や児童数だけではなく、様々な検討していくべき課題がある。例えば、子どもたちの人間関係や統合に対する不安、通学路や登下校の安全、学校行事やルールなどの学校生活のあり方、保護者からは PTA や育成会、地域からは見守り・防災・地域活動、スポーツ団体等からは特別教室や体育館などの施設利用についてといった課題が挙げられている。これらの課題について、皆様から率直なご意見を伺いたい。

	9 これから決めていくこと 具体的に決めていく事項として、通学路や安全対策、統合前の両校の交流、学校生活・行事・教育活動、施設整備や工事、育成会などがある。また、PTA のあり方、地域との繋がり、見守りや防災、地域活動などについても、保護者・地域・学校の皆様からご意見を伺いながら検討していく必要がある。本日いただくご意見は、こうした今後の検討を進める上での重要な材料にしたいと考えているので、よろしくお願いする。教育委員会からの説明は以上になる。 **【3 意見交換】** それでは意見交換に入っていきたい。今回、参加人数の関係上、本来であれば口の字型の座席配置で意見交換できたらと思っていたが、地域の方々の参加人数の関係もあり、講義形式の座席配置になっている。行政側に対してだけではなく、参加者同士のご意見でも意見交換していただいて大丈夫である。できるだけ多くの方からご発言いただけるよう、お1人につき、1つまたは2つ程度の論点に絞っていただければと思う。 ご発言の際には、係の者がマイクをお渡しするので、マイクを使って発言していただくようにお願いする。差し支えなければ、お名前と所属もおっしゃっていただけたらと思う。議事録作成上、ご協力をよろしくお願いする。 本日の場で回答できるものはその場でお答えし、確認が必要なものは内部で確認した上で後日回答、または今後の検討課題として整理をしていきたいと思う。 それでは、ご意見・ご質問等ある方、挙手をお願いする。
光明コミスク	統合ということはわかったが、光明小学校側の説明では、光明小学校も末成小学校も両方閉じて、どちらも一旦閉校した上で、新たに新しい学校を始めると聞いたのだが、そのあたりの説明は、末成小学校側にもされていて、了承を得ておられるか。
事務局	これまでは光明小学校と末成小学校でそれぞれ状況が異なるからということで、それぞれに説明させていただいていた。光明小学校から、一旦両校を閉校して、新たな学校を築いていくというご意見をいただいており、今回、合同の説明会として開催させていただいているので、そういったところも検討・議論できたらと考えている。もちろん統合の手法として、中山台で2校を閉校して新しい学校を作った経緯もあるので、今回、光明と末成に関しても、その進め方を検討していきたいとは思っている。
光明コミスク	まだ決まっていないということか。
事務局	1つの選択肢としてはあるので、今回改めて説明をさせていただいたので、光明・末成小学校の保護者のご意見をいただきながら決めていきたい。
事務局	学校統合については、今後、光明小学校と末成小学校の双方の意見を聞きながら進めていかないといけない。最終的に末成小学校の方で、閉校する、末成小学校を閉校して1つの新しい学校を作る、というところまでの決定のプロセスというのは、まだない。ただ、学校を閉校するにあたって、新たな学校を作っていくという意識でこの統合後の学校を作っていく、そうしたことで両校・地域が一体化していくことは当然教育委員

	会としても望んでおり、そうした方向でご説明はしていきたいとは考えている。 　みんなで学校の名前を考える、そのときにどんな名前にするのか、末成の名前を残すのか、あるいは光明の名前にするのか、あるいは全く別の名前にするのかというのは、それぞれご意見をいただきながら決めていけばいいのかなと思う。 　当然これは地域の学校であり、最終的には子どもたちで決めるという方法も1つはあるが、地域の中で意見を出し合いながら1つの新たなものを作っていくということで、前向きな方向で考えていけるような1つの材料にしていけたらと思う。光明の思いを十分に酌みながら、それを末成が十分に受け止めながら、新たな学校に展開していきたいと思っている。
末成 PTA	子どもたちに関係する課題かと思うのだが、先生方の人数がどうなるのかというのが少し気になっている。児童数に対して最小限の先生方で、市内の公立小学校というのは運営されていると思うのだが、やはり両方の子どもたちが新しい環境になるので、不安が大きいと思う。これまで関わってきてくれた先生方がやはり近くにいるというだけでも、随分支えになると思うのだが、最小限の人数になってしまうと、やはり苦しい子どもたちを拾ってあげられないのではないかという心配をしている。本来の仕組みに当てはめるのではなく、プラスアルファで多めに先生を配置してもらえたら、保護者としても子どもたちとしても安心ではないかと思うのだが、先生方の数については何か決まっていることはあるか。
事務局	教員の配置については、市で一方的に決めることができない仕組みになっている。教員は兵庫県の方が配置している。配置基準に基づいての配置となるのだが、一般的な話になってくるが、規模が大きくなると、クラス数以外の先生の配置される数が増えるので、今よりも教員の配置率は高くなる。 　さらに、統合時に合わせて加配教員が県から配置される。最大で3年間、教員が配置される県の仕組みになっている。市としても、子どもの心理的な変化や、保護者にも心理的な変化があるので、そうしたことに対応できる職員の配置や、相談日を設けるなど、そうした配慮として人を配置していかなければならないと思っている。
光明まち協	令和10年4月に統合とのことで、お聞きしたいのだが、地域の中で小学校の中に防災倉庫を4階に借りていて、それが毎年3月ごろに次の年の申請を出さないといけないという制度だと思うが、令和10年4月以降、そこの倉庫というのはどういう考え方をさせていただいたらよいか。
事務局	令和10年4月1日、統合した後も、光明小学校については、教育委員会の方で施設管理をしていく予定であり、教室や倉庫はしばらく使える環境にある。いろいろ学校に付随する設備施設についてはそれぞれの担当課と、地域でしっかりと協議をしながら、将来的に移す場所も含めて、少し時間をかけながら進めていければと考えている。
光明まち協	その場合、光明小学校舎使用等の学校長許可は、誰からもらえばよいのか？。
事務局	これまでの例で言うと、中山五月台小学校と中山桜台小学校が統合した中山台小

	学校になって、中山五月台小学校が今使わない状態なのだが、原則として教育委員会が基本的な管理をしているものの、名目上は中山台小学校の第2施設という位置付けにしているので、統合した学校の学校長ということになる。ただ、誰に申請すればいいのかということは、統合後の校長なのか、直接教育委員会なのかというのは、それまでに整理してお知らせさせていただきたいと思う。
光明まち協	統合以降も使えないことはないということか。
事務局	しばらくは教育委員会で管理する状況を想定している。
光明 PTA	これは確認なのだが、PTA の備品と、卒業生がタイムカプセルを作っていて、それを倉庫の方で保管している。統合前最後の児童が作ったタイムカプセルを光明小学校で保管し、20歳になったときにオープンさせていただくということは保証される、タイムカプセルを管理していただけるという認識でよろしいか。
事務局	最後の卒業生が20歳になるまでの期間であれば、十分にまだ管理は教育委員会でできる。（50歳・60歳だと私にはわからないが。）
末成まち協	地域活動の拠点、それから音楽活動、あるいは地域での社会教育活動として、今、末成小学校を使っているのだが、今後こういった施設というのは、先ほどの教室の数からいけば、なくなってしまう。そういうことに関しての配慮はあるのか。教育の一環と地域で文化的な活動をされていると思うのだが。末成小学校の多目的室というのは、文化的な活動をしたり、あるいは音楽活動をしたり、地域の活動拠点になっている。これが今後どうなるのかということで、幼稚園の問題もあるのだが、全体的なロードマップというのがあまり見えていないので、どう考えていいのかわからない。末成幼稚園、光明小学校、今後良元小学校の問題もあるが、全体像がなかなか見えていないので、ここで情報共有できたらと思うのだが。
事務局	地域活動、音楽隊もそうだが、いろいろな方に末成小学校を使っていただいて、文化的活動の拠点としてこの学校が活用されてきた。これをこの統合の機会に無くしていくということはない。むしろより活性化・活発化していただきたいというのが教育委員会としての思いである。 ただ、これまでのようにある一定面積を専有するというのはなかなか難しいかもしれない。事務的機能を最小限の部屋にとどめ、統合して全部の改修工事が終われば、1.5教室分ほどの教室が複数できるので、教育活動にも使い、地域でも使えるような部屋として、積極的にご活用いただけたらと思う。ただ、専有ということではないので、学校と共有しながら使っていただければと思う。多目的室、ランチルーム、視聴覚室、そうした部屋を活用して地域活動、またそこに子どもを巻き込んでいって、地域と一緒に活動するような機会も創造していただければと思っている。 ロードマップについてだが、先ほど課長からも少し工事のお話があった。今年度、冬から少し工事が入っていくが、本格的な工事は令和9年度と令和10年度になる。令和10年度といえば令和10年4月1日以降なので、統合後ということになる。令和9年度

	は、子どもたちが統合後学ぶ普通教室数を確保するための工事に集中する。令和10年度は、多目的室や図書室、子どもたちが日常的に使う教室以外の教室の工事をしていく予定である。工事期間中は使えない部屋が多く出てくるので、その2年間については制約が出てくるかと思う。ただ、工事が終われば、多目的室や少し大きめの教室というのが複数できるので、共有して利用いただければと思っている。 幼稚園については、今、保護者・地域の方々と、また全市的に審議会の方でも議論しているので、この統合とは別で協議をしているところである。 良元小学校の建替えについて。光明小学校の跡地が何に使われるのかという話のときに、30年・40年先というのはまだ具体的なところは決まったわけではないが、短期的あるいは中期的には、こうした学校の建替えのときに活用できればと考えている。旧の町村単位でできてきた昔の学校は、集落の中にできているので周りの道路が狭い。そういうところで新たな学校を建てようとすると大型のトラックが入ってこられないので、良元小学校は少し道が広い南側の運動場側の工事動線と子どもの動線がどうしても重なってしまうことから、工事と登校の同時進行は非常に難しい。良元小学校を子どもたちが学びながら建替えるというのは困難であることを考えれば、空いた学校があれば活用するというのも1つのプランとしてある。そういう意味では、光明小学校が将来空いたときに、良元小学校の建替えのための用地になることも1つの検討で進めているということでご説明をさせていただいた。良元小学校は築65年を過ぎており、直近でも大規模改修をしていないので、比較的早めに建替えが必要な学校であり、そういう意味ではいずれにしても近い将来、建替えの話を進めていかなければならないと思っている。 もう1点、良元地区と光明地区は非常に関連性が強い。少し昔の話をすると、小林村のときはこの光明地区も小林村の一部であった。良元小学校への校区編入も検討してほしいという要望を、メールや意見フォームの方で、数件いただいている。今回の統合で、光明と末成を合わせると結構大きな規模になる。一方、その周辺地域は統合するようなところがなければずっと小さな学校を維持する、あるいはより小さくなっていく。そういうことを考えれば、もう少し校区割りというものを皆さん方と考えることで少し平準化していくことも1つの検討材料かなと思うので、意見フォームでいただいたご意見も今後参考にしながら、検討をしていかなければならないと思う。
末成まち協	今の話を聞いていると、逆にその良元でも受け入れるという形になれば、末成小学校の教室数は余裕が出るという。だからそういう面で考えたら、両面を同時に検討されたらどうかと思う。
事務局	意見フォームの方でも、また個別にも意見をいただいている。校区を変更してしまうのか、選択制にするのか、いろんなご意見があるので、そこは柔軟にやはり検討していかなければならないと思う。先延ばしすることなく、並行しながら検討していきたいと思う。
光明まち協	今、市は財政難になっている。建替えが良元小学校で迫られているということであれば、光明小学校が一番新しく、設備も一番良い。であれば、良元小学校と光明小学校の統合があってもいいのではないか。 光明小学校はいつも振り回されている。光ガ丘中学校ができたときには校区編成

	で、否応なしに道を越えて宝塚第一中学校に行った。今の話の中では、交通量が多く危ないからということだが、それは支離滅裂ではないか。 財政難から言えば、末成と光明が統合ありきではなく、白紙に戻して良元小学校と光明があってもいいのではないか。そうしたら良元小学校の建替え費用というのが大分削減されると思う。 それから光明小学校の体育館は、災害施設として避難所となっている。そういうことも踏まえると、やはり光明小学校がいつもあちらこちらに振り回されているのではないかと思うのだが。今部長のお話から、建替えのことを踏まえて財政的なことを言うのであれば、特にその辺は考慮していただくべきことではないかと思う。
事務局	光明小学校と末成小学校を統合するときに、当然周辺の学校も含めて検討し、当然良元小学校と光明小学校というのもすでに検討した。 少し良元小学校の地域的な話をすると、周辺道路が非常に狭い。今の法律上、建替えをするときに、通常1軒の家を建てるということであれば中央から4メートルになるように計算されて道路を広げ、そこから家の敷地として建てるというルールがあるのだが、学校ほど大きい規模になると9メートルになる。非常に広い道路に面しておかなければいけないというルールになっている。そのため、今の良元小学校の敷地側に後退していかないといけないので、面積が小さくなってしまい、光明小学校の子どもを受け入れるだけの施設規模の学校を建築することがなかなか難しい。先ほど言ったように、小学校1年生が下校時などに工事車両と動線が重なることを避けることを考えると、良元小学校との統合は難しい。しかし、光明小学校の一部の方から、良元小学校の方が近くて安全だという声もあるので、そこをしっかりと意見交換をしながら、どういう安全確保ができるのか、地域でも検討が必要かなと思う。一部と言うが、全体となると受け入れる良元小学校側の校舎規模、施設的に非常に難しいところがあったので、今回、光明小学校と末成小学校が適切ではないかというところで進めている。 体育館の避難所としての活用については、将来的に長期的にはどうなっていくのかは今お答えすることができないが、中長期的なところでお話すると、しばらくは教育委員会で管理していくので、その範囲であれば、これは総合防災部門とも少し詰めていかないといけないのだが、避難所として残すことは可能なので、そうした地域のご要望があるということで、今後、総合防災課とも、この光明小学校の体育館の活用方法について検討していきたいと思っている。
光明小校長	私も最初に閉校という言葉を聞いたときは、ショックだった。新任から2校目の学校がここだった。その頃に2クラスあり、人数もそこそこいた。ただ、私がこの学校の中で初めて単学級になるという1年生の担任をしたのだが、その時もこの校舎だった。末成小学校から光明が分かれたのだが、この学校も、もっと子どもが多くなるかもしれない、校舎を増築するかもしれないということだったが、なかなか増えずに、逆に減ってきている。だから先ほどおっしゃったように、いつも光明が振り回されてかわいそうだというご意見も非常にありがたいのだが、別にそうなるとは誰も予測していなくて、いろんな状況の中でそうなった。 そして今の状況なのだが、少人数で良い面はすごくたくさんある。ただ、人数が多かったら本当によかっただろうなと思うことの方がやはり多い。クラス替えがなくて、6年間

	同じメンバーの子どもたち、そして中学校になって初めて大きな集団に行くというか、本当に危ういと見込まれるような形であり、やはり光明から行った子で不登校が多いというのは事実である。私がいた頃も、2クラスあったが他の周りの学校よりはるかに小さい学校だったので、私が受け持った子もなかなか教室に入れず、別室に行っていたりしていた。 寂しい気持ちはたくさんあるが、いろんな意味で、財政のことも含めて、統合するとしたら一番良い形で統合して新しい学校を作っていきたいなというふうに、自分の気持ちにエンジンをかけたというか、切り換えた。子どもたちに対しても、保護者の方に対しても、それぞれいろいろ思われる方はいらっしゃると思うので、そこの気持ちも大事にしながらだが、学校長として、どっちでも良いよということではなく、どちらに舵を切るのかといえば、やはり新しい学校づくりの方に舵を切った。そして光明小学校の職員は皆その方向を向いているし、子どもたちもその方向を向いている。ただ、最初に話した友達の中に、やはり泣いてしまう子はいたし、泣かずともやはり寂しい、辛いと思う子もいた。その気持ちも本当に大事にしたいと思う。 夏休みの初日に光明と末成の教員でコア会議をした。どんな研究をしていくのか、どんな学びをしていくのか、まず子どもたちをどう育てるかということで、この夏休み中それぞれでまた協議をして、今週の水曜日、今度は末成と光明の教員全員で合同会議をするつもりでいる。 交流についても、たまたまなのだが、末成小の外国語の教員が光明小に来てくれているので、まず2学期の間、3年生に、お互いの学びを持ち合うというような学習をして、それを両方でやっていこうとなっているので、先ほどおっしゃったような、今までなかった良元小との統合というところはちょっともう受け入れにくいなと思っている。 私はこの末成の地域は本当に温かい良い地域だと思っている。光明地域もとても良い。末成のまち協会長を中心に作ってこられたまち協の素晴らしさも感じた。 まだ工事が続くという中で、令和10年4月統合ということで、末成小学校の具体的な教室配置と、用途が検討されたと聞いた。育成会もまちづくり協議会の拠点もあるということでは、教室が足りず、今のままでは外国語教室ができないということになる。まち協も大事、育成会も大事、けど、やはり私が一番大事にしたいのは、子どもの教育活動である。まず教育活動が滞りなく、少し余裕を持った形でできるように、1学年3クラスになるので、ある程度広い、ちょっと顔を突き合わせながら話せる場所が末成小学校にあったらいいなと思っている。教室の配置、調整の付け方が難しいのかなというのを今感じている。うちも音楽隊が音楽室を使えず、理科の準備室を使っているのだが、それでもちょっときつきつなので、余裕を持ってと思っている。私が勝手に思っていることで、全然委員会に相談もしていないのだが、第1校舎としては末成なのだが、ここ光明小校舎も近いので第2校舎というふうな形で使えたらいいかなというふうには思っている。 いろんな制約があるのは承知しているが、両方とも新しい学校だというふうに使わせていただけたら本当にありがたい。いろいろ不都合があるかもしれないが、やはり学校を作っていくのは人で、私たちは子どもと教員と保護者と地域、この4者で地域の学校を作りたいと思っている。末成小校長とも、明後日の始業式には、子ども自身で子どもが参画する学校づくりをしようという話をしようと言っている。ただ始めから「学校づくり」は大きいので「学級づくり」だったり、どんな学校にするのか、どんなふうに自分が人と関わりながらするのかという、自分も相手も大事にすること、やはり意欲的に学びに向

	かってそれを支え合う子どもたちにしようというようなことを校長が語る。それを受けてクラスでどうしていくかということも話しながらやっていこうと思っているので、そのあたりはある程度信頼していただきながら、ご意見があれば聞かせていただきながら、新しい学校づくりを、もう令和10年4月となれば、後1年半と少しなので、しっかりやっていきたいと思う。 　7月21日には両校での取組をシェアした。共通性もあるし、違うところもあった。違うところをどうやって合わせるかというとやはり葛藤することになると思うので、両方が持ってくるというよりは、本当にフラットにどんな学校を作るのかというところでいこうかなというふうに今思っているところである。
民生委員	今、校長先生が単学級はやはりちょっとということをおっしゃっていたのだが、もしよかったら、単学級でやってみてよかったことというのを知りたい。 　そして末成小学校は今築何年で、その改修を行ったら、また次何年後に建替えをされるのかというのが気になった。私の子どもは良元小学校で、本当に建物が古い、臭い、汚い、暗い。実際自分の子どもがトイレに行けず、下着を汚して帰ってきているので、それを1年生時から言わせてもらっていて、今、トイレの改修をしてもらっている。建替えはとても嬉しい。ただ、光明小のトイレはきれいなので、末成小に光明の子どもが行ったとき、トイレが恐怖になるかなと思う。低学年のお子さんが不登校になる可能性も多くて、トイレに特化して言うが、家に帰ったときに、トイレの便座が開くのだが、そんなところと、今の小学校は和便、これは勉強になるので和便があってもいいと思うのだが、やはり家と違い過ぎて怖いみたいなので学校に行きづらいということがある。学校に行かない理由のきっかけにしかならないかもしれないが、移動した後、改修があるから建替えが60年後ということになったら、60年後の子どもたちの家庭がどんな素敵になるか、そうなったら学校に来れないなということを心配している。
光明小校長	単学級で良い面は、さつまいも畑で必ず一人一株抜くことができたこととか、シリーズ読書がしやすいとか、そういったことである。そういったことはこれからも工夫で何とかなるかなと思っている。1クラス38人でパンパンであった学校も経験してきたが、それよりはクラス分けがあり、1クラスあたりの人数が少ない方がメリットがあると思う。 　変化を苦手とする子には良いかもしれないが、いずれにせよ中学・社会に上がっていき、いろいろな人と出会っていくことになるので、小学校低学年から多くの人に触れあっておく方が良いと思う。
事務局	建替えについては、昭和40年代から50年代に日本中で人口が増えてきたことを受けて、第2次ベビーブームの子どもが入学した時期に、学校数が非常に増えた。国の補助金で建替えをするのだが、かつては60年が1つの目安だったが、今後、全国でその時に建った多くの学校が一斉に建替えをされてしまうと、なかなかお金がついていけないということで、60年が80年に延ばされた。ただし、そのままで延ばすと、本当に使えない状態で20年となるので、そうではなくて、20年単位で大規模改修をしていこうというルールに変わった。長寿命化改修という。そのルールに則ってすでに末成小学校は改修をしており、トイレの改修もしている。ただ、残念ながら良元小学校は60年周期で建替えようと考えているので、その間トイレの改修工事は最小限の工事になってきている。

	そういう意味で考えたら、良元と末成は少し別の歩みを進めている。ただ、良元小学校のトイレが使いづらいことは十分に把握しているので、1日でも早い建替えに取り組んでいきたい。
末成小校長	北館は工事が入って新しいトイレになっている。南館の方が若干古いトイレが残ってはいるのだが、今日子どもたちは北側の学校しか使っていないので、特にトイレで嫌な思いをしていることはない。
事務局	ちなみにトイレの洋式化というのは、教育委員会としても進めている。一部和式が良いというお子さんもいらっしゃるので、必要最低限の和式を残しているのだが、トイレはどんどん新しくしているので、それほど差はないのかなと思う。
末成まち協	防災の観点からなのだが、今各地域において指定避難所の避難所運営マニュアルを作っている。末成小学校の場合、体育館だけでなく、南館も、例えば援護が必要な人とか、配慮が必要な人について使用するような形になっている。今後、南館が教室に変わっていくとなると、そういったところももう一度見直さなくてはいけない。災害時、体育館だけではカバーできない。精神的にも不安定な人がいるので、そういった人を受け入れる場所として使わせていただけるのかどうかと思った。小学校が指定避難所になった場合について、あらゆる人に対する配慮ができるような避難所運営ができるのかどうかお聞かせいただきたい。
事務局	当然、災害時に避難者を迎え入れるとき、体育館のみならず、少し個別に分けた方が良いような方もいらっしゃるので、そこも想定している。末成小学校の校舎改修についてはその視点も踏まえて、相談室や普通教室以外で使える部屋、そうした部屋が避難者を迎える部屋になってくるかなと思う。また、休日にも使いやすいように、校舎に入らずに、多目的室・集会室に入ってこられるような出入口をつけること等によって、利便性を一定確保していきたいと思っているので、避難所としての機能もしっかり持ちながら、校舎改修に取り組んでいきたい。
光明小コミスク	各学校単位で設置されている学校運営協議会や、校区人権啓発推進委員会、そういった組織を統合に向けてどうしていくのか。PTA ももちろん、役員であれば前年度から選定していくことになる。統合となると、次の年の役員を前年度に決める。ただ、統合する前でお互いの状況が分からない。今までの役員した経験とか、そういったもろもろの状況によって、役員決めというのが各学校で違ってきたりすることもある。そういう内容をどのように詰めていくとか、そういうものの指標、手続きみたいなものをお知らせいただけるのか、それともそれぞれでということになるのかをお聞かせいただきたい。
事務局	小学校区単位で形成されている団体の中でも、1つにまとまっていただくべき団体と、それぞれの団体でご判断いただく団体とがあるかなと思う。1つにまとまっていただくべき団体、学校運営協議会は学校に対し1つあるものだから1つになっていく。PTA もそうである。そうした団体は会費を徴収して一定の財産を持っている場合もあり、統合するための手続きが非常に難しいと思う。そこは担当課が、PTA であれば社会教育課

	が、統合に向けたお話をそれぞれに、あるいは一緒にさせていただくことになろうかと思う。組織を所管する部署の方からそれぞれの団体の方に声かけを順次させていただくことになると思う。それぞれでやってくださいということではなく、しっかりとサポートをしていきたいというふうに考えている。
光明まち協	今までのお話をずっと聞いていると、非常に当たり障りのないお話で、耳の方をすーっと抜けていくような感じである。改めて、私は何回も言っているのだが、まずは宝塚市として10年・20年・30年、森市長がいつもおっしゃっている50年先の宝塚市、今それぞれ市民の人たちと話をし、対話を持っておられる。50年先の宝塚市、40年先、30年、20年、10 年先のグランドデザインをきっちりと描いていただきたいということを私も前に申し上げた。 まず未来の設計図というのが全く見えない。この10年先・20年先・30年・50年先ぐらいあれば、光明小学校は、ひょっとしたら宝塚第一中学校になるかもというふうに思う。考え方として、新しい光明・末成小学校、それと良元小学校、この2校が中学校にというようなことも将来として考えられる。非常に奇抜な考えかもわからないが、なぜあんな宝塚第一中学校という高台のところまでいかないといけないのか。その辺のところも踏まえれば、高司、それから仁川、これらは非常に範囲が広い。5年・10年先ぐらいしか見られていない気がする。良元小学校の建替えとか当然出てくるし、末成小学校の統廃合による校舎増築・改修が出るのだから、そういうふうなものをグランドデザインとして、教育委員会はこういう形で進める、市民協働推進課はこう進める、そして建築指導課の方はこうする、というようなものを、いわゆる縦割りの中でそれぞれの役割分担の中で、時系列に示していただきたい。これによって我々は賛同して協力できるんじゃないかと思う。 光明は振り回されているとおっしゃっていたが、確かに過去の歴史としてはそうかもしれないが、今になってみたら、やはり人口減・小学校の子ども数が減少する中で、これは当たり前のことなので、統廃合はある。であるからこれをやっていって効率化を図る、財源を確保する、そして明るいまちづくりを作ると。 まちづくり協議会というのははっきり言って、もともと地域のものであって、小学校のものではない。この地域をどうしようかという地域まちづくりである。であるから我々もまちづくりに参画するので、そういう夢を地元住民に与えてもらい、光明の今の地域の住民は本当に末成に吸収されるというようなイメージでいるので、これは違うんだというものをはっきり示してもらいたい。それからもう1つは、この地域、亀井町も福井町も含めて、この地域にどうしていく、どういう形に将来的に持っていくという絵を描いていただきたい。それによって、この地域の活性化が生まれるし、宝塚市を明るい未来都市にしていける。どうぞよろしくお願いする。
事務局	10年・20年・30年、それが40年・50年と先どうなっていくのかというところはなかなか予測が難しい中ではあるのだが、少なくとも今教育委員会で考えているのは、この地域の発展が旧の町村単位から拡大していったため、人口減少後も、やはり旧の町村単位で集約を進めていきたいと長期的には考えている。 この町村単位というのは、良元、宝塚、小浜、長尾、西谷というよりももっと細分化されたところと考えている。かつての鹿塩村、蔵人村、小林村、伊子志村が、明治22年に市

	町村制で1つの町になった。そのとき財政基盤もしっかり整えられて良元小学校ができた。鹿塩地域で1つ、蔵人、それから良元。伊子志にはかつて学校がなかった。この小林小学校に逆瀬川界隈の人も来ていたというのもあり、そこの整理のためには今一番大きく一番古い第一小学校あたりを中心に考えて、学校を再編していかなければならないだろうと考えている。これが右岸側の話で、左岸側も同じような地域設定がある。 川面村・安場村・美座村・小浜村・安倉村・中筋村・中山寺というのは町村単位で学校ができてきた経過があるのだが、ただ一部その町村を跨いでいる地域がある。美座小学校が小浜と宝塚で、安倉北小学校が安倉村と中筋村である。そこは地域を少し整理しながら、学校というのは旧の町村単位でまとめていくというのが大きな宝塚市の今後の方向性である。 そうした中で、小学校と中学校がバラバラであっていいのか。これについては文化が違う。小学校は明治期からあったので旧の町村単位だが、中学校というのは昭和22年からできた制度だから、また比較的新しい。であるから、その中学校は今4つの町村単位でしかないので、そこをどう細分化していくのかというのは、小学校等も一体化した考え方の中で整理をしていかなければならないのかなと思う。今、平成28年に制度化された義務教育学校、いわゆる小中一貫校、これも実は昔に帰ったら、明治の学制には小中一貫校だった。小・中、中というのは昔高校だから、そういう意味では昔に帰っていくのかなというイメージを持っているのだが、そうした明治期の状態を中心に学校を集約していきたいというふうに考えている。 今すでに旧の町村単位で集落ができていたり、だんじり等を中心に活動されたりしているので、そうした地域体も大切にしながら、学校を集約していきたいという長期的なスパンを考えている。あとは関係部署でもそうしたところを共有しながら整理を進めていく必要があろうかと思う。それと少し財政のお話をされたのだが、持続可能性というものを当然視野に入れながら整理をしていかなければならない。やはり人口が減れば、人口に比して学校数というのは整理する必要があろうかなと考えている。
参加者	今のお話は、何年後に小中一貫校をつくる想定でお話しされているか。
事務局	小中一貫校を作ろうとすると、6学年の1.5倍の9学年あるから、その子どもたちを受け入れるだけの校舎の容量が必要になってくる。また、中学校で使う教室の兼ね合いがある。金工室であるとか木工室であるとか、特別教室の数も増えてきたり、LL 教室の必要があったりで、施設的に相当広くならないと難しい。まずは施設分離型という方法も視野に入れながら考えていかなければならない。施設分離型というのは、5年生・6年生を中学側の校舎を使って勉強し、1年生から4年生は小学校で勉強するといった方法である。それで人口がある程度減ったところで、当然校舎の建替えであるとか整備をした上で、1つの校舎の中で学ぶ、小中一貫教育を進めていくということも可能だろうと思うので、それはそれぞれの地域の人口と学校の敷地によって変わってくるから、少し個別に考えていかないといけないと思うが、いずれにしても、取り組めるのであれば早期にチャレンジしていきたいというふうには考えている。
保護者	今、プールが夏場は入れないことが多くなり、スポーツセンターを使おうかみたいなことになっているので、そのように、木工室とかも何かの場所みたいな、市役所にその部

	屋を作りましょうみたいな、その時間外はそっちに行くみたいなことも現実あり得るのかなと想像したがどうか。
事務局	プールの場合は1年間のわずかな期間だが、木工室・金工室は日常的に使うので、それを集約化していくというのは課題が幾つかある。どこに集約するかということと、維持費の問題も出てくる。プールは昭和40年代頃に整備されてきて、今大規模改修なりをしないといけないのだが、プールというのは解体するだけでものすごいお金がかかる。どうせお金をかけるのだったら、バス等を用いてどこか1か所で、わずか1か月のことであるし、温水プールを使えば1年間使えるので、熱中症対策の意味もあっての検討である。だから少し金工室・木工室とは質が違うかもしれないが、ただ参考にはさせていただきたいと思う。
参加者	運動場の暑さに関することについて、地球沸騰化と言われるほどだが、そうなると体育館を4倍のスペースで作るとかそういう案が出るということか。
事務局	今のところはない。宝塚の場合は全部空調をつけたが、国から基準として空調をつけなさいというのもないので、なかなかそこまではたどり着かないのかなと思う。ただ、実態として、学校が体育の時間に運動場を使おうと思っても、暑さ指数が基準値を超えて使えない実態があれば、建替えのときには、体育館をしっかり活用できるような構造にしていくのも、1つの重要な要素かなと思っている。
光明まち協	今、小中一貫校の話が出た。個人的にも考えてみても、ちょっとそれは非常に難しい話かなと思う。それよりも今現実に考えれば、小中一貫校じゃなく、今の小学校の1年から6年生までの体格を見てみると、もう本当に5年・6年からかなり大きい。そうすると、5年・6年生を中学校と一緒にするとか、小中じゃなくて小学校4年生あるいは5年生まで、6年生からは中学というような方法もあるのではないかと。これは文科省の考えることかもわからないが、今小中一貫校の話が出たので、もう現実そういう建物があるならばそういう形で運用していくということであれば、子どもの教育には非常にいいのではないかというふうには思っているが。5年・6年というのは非常に伸び盛りであるので、逆に中学生と引っ付けた方が成長の環境はいいということ。ちょっと私の個人的な意見なのだが。
事務局	今のご意見、まさしくその通りで、学術的にも言われている。今の6・3・3制ができたのが昭和22年なのだが、今の小学校の6年生というのは当時の中学校1年生ぐらいに匹敵するぐらいの体格になっているので、少し6・3・3制の制度が追いついていない。実際それを受けて、そこを改善するために義務教育学校というものの制度ができてきたので、今まさにおっしゃられたように、施設分離型の義務教育学校にして、5・6年生を中学校に行って勉強させていくという考え方である。一気に新しい校舎を建ててというのはなかなか難しいところがあるので、5・6年生だけを先に中学校に行かせて勉強するような仕組みも並行して考えていくようなことかなと思うので、そこは重要な課題だと思う。

末成まち協	今回は全体会議という形の中で、全体の中で情報共有するということで漏れはないか。今まで個別に話された中で、ここでお話をされていないというのはないか。
事務局	出席された方の、例えばご家庭に起因するようなお話、質問されてお答えするような場合は結構細かいところの話になってきている。そこまで網羅されているかというと、なかなか今回お話し切れているのかどうかというのは自信がないのだが、大きなところでは大体の話が出ていたのではないかという認識である。
末成まち協	一応、全体を共有したという前提の中だが、個別にこんな話を初めて聞いたということがないようにお願いしたい。それで先ほども PTA をどうするのかとか、あるいは学校をどうするかという話の中で、今後やはり学校統合に向けていろんな課題をそれぞれの分野で話し合っていかなくてはならないが、今後はそれぞれの分野で話し合った内容について、こういった全体会のような共有の場所を設けていただけるのか。
事務局	こういう機会というのは、行政から皆様方に発信するためにも良い機会だと思う。今回だけで終わることなく、進捗状況も含めて情報共有・ご説明の場を持たせていただけるのであれば、月1回あるいは2か月に1回、皆さん方のご負担にならない範囲で開催できればと思う。
末成まち協	ぜひそれをお願いしたい。教育委員会だけでなく、他の担当部もそうである。 今回こういう形の中で、教育委員会と協議ができた。今まではどうしても教育委員会の壁が高くて、なかなか意見を聞いていただけなかった。申し上げたいのは、宝塚市の協働のまちづくり基本条例の中に書かれているのはやはり「市民の声を聞く」と、市民が参加するということが大前提になっているので、先ほども話があったように、これからどういう将来にするかということや、そういった点も含めて、やはりもっともっとそれを市民と一緒になって、市民側も考えなきゃいけない。そういったことを忘れないように。宝塚協働のまちづくり基本条例、市民参加条例、協働のまちづくり推進条例もあるから、今一度、市で一方的に決めて「こうだ」と言うだけではなくて、方向性を示す前に市民の意見を聞きながら、市民の声を反映するという形でお願いしたいと思うので、よろしくお願いしたい。
事務局	しっかりと皆さんとの合意形成を取りながら、しっかり説明をし、意見を聞きながら進めていくという姿勢については、今後も引き続き継続していきたいと思うので、また皆様方のご協力をよろしくお願いする。
光明まち協	こういう場を設けていただいて感謝する。お願いなのだが、この場に来られていない方も多々いらっしゃるので、このことを市のホームページでも上げていただいて、今はこういう動向になっているんだということを地域の皆さんに広報することをお願いしたい。
事務局	議事録も含めてホームページの方に公表していくが、なかなか市のホームページで見つけていただくというのは難しい。中山台のときは市のホームページへの掲載に加え、まち協さんが回覧する機会に合わせて、議事録を教育委員会が作ってまとめたもの

	を回覧した。そこは会長さんと相談しながら、ホームページ以外にも欠席された方や参加されていない方への周知を最大限に努めていきたい。
末成小まち協	私の意見としては、今日、関係団体からそれぞれ集まっているので、それぞれの団体へしっかりフィードバックしていただければ漏れがない。まち協が全部一手にやるとなると大変である。
事務局　高田	承知した。本日、教育環境整備課の方から各団体にお声がけさせていただいているので、そこへ発信するような方法も検討させていただきたく。いずれにしろ、少しでも地域の多くの方に知っていただけるよう努める。
光明小 PTA	本日、学校の統合の時期が令和10年の4月ということでお話いただいたが、学校の施設整備が整わない状態の中で、なぜ令和10年なのか。ちゃんと整ってから令和11年に子どもを動かすというのが、なぜしていただけないのかというご説明がなかったかなと思うので伺いたい。 また、光明側では、2校を閉じて新しい学校をつくるというところは、再三お願いもしてきたし、末成さんにも時期を見てちゃんと説明をしますと伺っていたと思うのだが、それも「まだこれからです」という中で、残り1年半で、どのタイミングで何をされるのかというのが、正直あまり見えないのでお聞かせいただければと思う。
事務局	まず令和10年4月1日というところについて、統合の時期については令和10年4月がいいのか、令和11年4月がいいのかという話があった。実はこちらに寄せられているご意見の中では、特に就学前のお子様がそうなのだが、「入学してすぐに変わることよりは、早く統合の時期を迎えて、新しい学校に入学したい」、また「最後の1年だけ変わるよりも、じっくりと向こうで過ごしていきたい」というご意見もあって、どちらかというと「1年早く」というご意見が多かったことと、間延びすることがないようにというところもあって、令和10年4月という考え方になってきた。 施設の整備については、子どもたちが入る教室は令和9年度中に整備が終わるので、一般的な教育活動を受ける分について教室が足りないということはない。特別教室も通常どおり使えるようにしていく。それ以外で、これまでの長い時間の中で、子どもたちが減ってきて空いた教室を、壁を取り払ったりして様々な使い方をしてきた、そうしたところの改修を令和10年度に工事する予定である。であるので、子どもたちの学級活動については大きな支障はないのかなというふうには考えている。長期休業期間中や土日のうちに工事し、工事の音で勉強ができないということがないように最大限配慮していきたいと思う。 2校を閉校して新たな1校をということについて、そこのお話をするには学校、保護者、地域という順序であるべきだが、PTA との日程調整がうまく合わなかったと聞いている。ただ冒頭でお話ししたように、いずれにしても新たな学校を1つ作っていくことには変わりがない。吸収すると言っても転校生が5人、10人来るような状態ではなく、100人単位の子どもが移ってくる。これは中山台でもそうだったのだが、当然教育目標も全部変わってくるので、学校の根本的なあり方というものが変わってくる。自ずと新たな学校になっていく。ただ学校の名前というのは新たに公募するのか、どうするのかという

	のは、皆さんで決めていただくことである。1つの新しい学校を作っていくという目的を考えれば、統合の進め方として非常に大切な要素になってくるので、説明がいつの時期であろうと、そこはしっかりと新たな学校を作っていく、1つの学校になっていくというプロセスを考えて、2つの学校というのは一旦歴史が終わり、その遺伝子を両方持ちながら1つの新しい学校を作っていくという基本的な考え方の中で進めていくと、自ずと、光明小学校で言われたようなスタイルになっていくかなと思うので、そこはしっかりとぶれずに対応していきたいと思う。
光明小保護者	光明小学校の方で今までの説明会にすべて参加させていただいているのだが、光明と末成と別々に説明会があって、光明小学校での説明会のときの保護者の方たちの意見とか様子に関して、今回の説明会で一切出てきていない。 正直、統合に関してはショックで泣いている保護者の方がかなりたくさんいた。私自身も正直、光明小学校がなくなって統合するというのは今でも本当に大反対は大反対なのだが、そんなこと言っていたらやはり子どもたちがかわいそうなので、統合していくという形でどんなふうに良い方向で進めていけるのか、子どもたちのために進めていけるのかを考えないといけないということは頭ではわかっているので、そちらの方に皆さんが舵を切るということで、今更統合自体に反対することはもうしないが、正直、光明小学校の保護者の中には、一定数、私の個人的な思いだが、おそらく末成の方たちよりかは光明の保護者の方がすごくショック、反対という意見は多いんじゃないかと思う。少なくとも私の周りは本当にその話を聞いたときに怒っている、悲しんでいる保護者がすごく多かった。その大前提というのは伝えるべきではないかなというふうに思う。 初回から何回も言っているのだが、「子どもの児童数が少ない、ずっと単学級が続いているから、2つの学校を統合します」というデメリットばかりが毎回資料に載っているが、それはやめてほしいと初回のときからずっと言っている。しかし、いまだに今日のもそういった内容だった。確かにデメリットがたくさんあるが、私個人的には、もともと西宮に住んでいて、逆に単学級だったところが、西北の周りに住んでいたので、今子どもが莫大に増えていて、3クラス・4クラスにどんどん増えていって増築しないといけない状態になっているような小学校に子どもが通っていた。人数の多い小学校から引っ越してきて、子どもの少ない小学校に通うことになって、うちの子どもはすごくよかったと思う。途中から転校してきて、すごく良い教育を受けることができて、そのまま高司中学校に行けた。その分高司中学校で1年目は大変だったが、2年目・3年目はうまくやっている。小学校の間、すごく丁寧な指導をしていただいて、私自身の子どもはすごくよかったなと思っている。少人数だから統合していくんだという方向に関してはいい加減やめていただけたらと思う。 この回は地域に向けての説明会ということで聞いているので、地域に関して。まち協さんがそれぞれの学校にあって、それに付随する自治会とかがあるので、今までまち協さんで地域の子どもたちのためにしていただいたイベントをどんなふうに調整していくのかとか、あと見守り活動。通勤時に登校時間の光明も末成の様子も見ている。どっちの地域も保護者の繋がりがあり、この地域全体の中で生活している私個人の感想として、統合してまち協さんとかも一緒になると、余りにも地域が広くなりすぎて地域の目が薄くなってしまうというのがちょっと心配している。 また縦の繋がり、連絡の繋がりであったりというところを、統合に向けて地域に関して

	もしっかりと相談していったりが必要なのではないかなと思っているので、教育委員会や市の方で、モデルケースとかそういったものがあるのかどうかというところを知りたい。 　それから、地域の子どもたちのためにしてくれている光明地区のイベント、大きいものは年2、3回、とんども入れたら年3回だが、やはりそれをすることで、地域の子どもたちと地域の大人が顔見知りになっていると思う。それは子どもたちの成長や防災の観点、（何か大事が起きたときに、あそこのあの人がいないとか、あの子どこ行ったとか）に繋がってくるので、統合してしまったら防災拠点も今まで光明小学校だったのが、未成の新しくできる小学校になるのかとか、そのあたりも今後どうなっていくのかというところも教えていただけたらと思う。
事務局	確かに光明小学校の保護者説明会の中で、特に最初に説明したときには、皆様方のいろんな思いをお聞かせいただくことになったことを、今確かにお伝えできていなかったことは申し訳なかった。複雑な思いの中で、最終的に子どものことを考えて、そこを前向きにと気持ちを切り換えられて、今この場に臨んでいただいていることについて、しっかりお伝えすべきであったので、申し訳ない。 　あと表現方法については改めて今後、十分に留意していきたい。 　地域活動という視点で何点かご意見いただいた。確かに広い地域になってくるが、宝塚市にはもっと大きな地域がある。そこではそれぞれの二次的な団体として活動するところが細分化されていたり、結構システマチックに組織運営されている。長尾地域は、そもそも大きな校区の3つの小学校で1つのまちづくりをしており、宝塚小学校・宝塚第一小学校はものすごく大きな人口規模である。そうしたところの活動形態を参考にしながら、市民協働の課がしっかりとまち協さんと連携しながら対応していくかと思う。 　あと、光明のイベントとかは本当に大切にしてほしい。光明太鼓は、統合しても名前を変える必要が本当にあるのかなと個人的には思う。これは長い歴史があるから、しっかりそれはそれで継承されていくような1つのあり方等を検討し、学校を統合するから1つになるから今までの名前も全部変えるのではなくて、それぞれの地域の良さがあるので、そこは大切にしながら統合に向かっていけばいいのかなと思っている。そういうふうにこちらからも投げかけていきたいと思う。 　防災拠点について、先ほど言ったが光明小学校はしばらく防災拠点としては置いていくことになろうかと思う。一気に大規模になるわけではない。ただ、これが未来永劫続くわけでもないので、段階的に見ていかないといけないので、ぜひそうした地域活動が、この統合した学校でばかりではなくて、しばらくは残る光明の小学校を使うとか、お祭りに使うとか、体育館を使うとか、そうしたことも含めて、地域の隅々まで顔が見えるように今後継続されていければなと思う。防災部門、市民協働、しっかりとそこは連携しながら取り組んでいきたいと思う。何点か反省すべき点があるので、そこをしっかりと直していくことと、地域活動については先進的なところを参考にしながら、しっかりとしていきたいと考えている。
市民交流部次長	まちづくり協議会などの地域活動の方を支援・サポートさせていただいている担当部署である。この学校統合を見据えた話が3月・4月に教育委員会の方から出てきて、私どもも情報共有させていただいた。

	光明・末成の地域活動それぞれが伝統ある素晴らしい活動だと思っている。この学校統合によって、地域活動がそれぞれもっとよくなっていただくように、どう取り組んでいったらいいかという話し合いを市役所内で進めており、6月以降それぞれのまち協さんとお話をしている。それぞれのまち協さんからそれぞれの活動を大切にしたい、お互いのそれぞれの町もどっちも大事であるというところを聞いているので、今後どうなっていったらいいのかという視点で、それぞれのまち協さんと一緒に話し合っていく。 最終的には統合した方がいいのか、それともそれぞれの活動を続けたらいいのか。それぞれいい面・悪い面というのは出てくるかと思うので、それを踏まえながら、他の地域がどうしているのかというところの情報を提供しながら、一番はそれぞれの活動、イベントを含めて、どうやっていったらこのまちが住みよく、安全なまち・安心なまちになっていくのかという視点で、皆さんと考えながら、それぞれで知恵を出しながら検討する。当然何か活動がなくなるありきで話をしているわけではなく、そういった視点で一緒に話をしていきたいと思っているので、よろしくお願いする。
光明小 PTA	すでに中山台のときの統合に関するスケジュール表を、約3年間でいろいろスケジュールを実行されたので参考になればということで配っていただいた。子どもたちの交流、地域、保護者、教育委員会 PTA、育成会など、この時期にアンケートをとった、この時期に PTA のすり合わせがあった等、細かく表示してくれているが、その光明小・末成小バージョンのロードマップをいただけたら、今日参加している皆さんも安心して、次何をしようかという一歩になるかと思う。 それから、コロナ禍でスケジュールが大分変わったとは思うのだが、それでも3年ほどかけてゆっくり統合が行われたので、今回光明小と末成小では1年半というすごく短い期間でどういう順序を踏んでいくのか、もちろん随時変更はあるとは思うが、早く作って出していただきたい。 それに新しい学校の配置図も、保護者も知りたいと思うので、検討段階であっても提示いただきたい。よろしくお願いする。
事務局	中山台はコロナで 1 年数カ月延びてしまった形になった。当然、この光明・末成小学校の統合に向けた具体的な計画をお示ししていきたいと思う。また教室配置も教員と教育委員会で今調整しており、最終段階になっているので、出来次第、周知していきたい。持てる情報はどんどん出していきたいと思う。説明会であるとか、ホームページでも随時更新しながらお知らせしていきたい。
光明小保護者	先ほどの少人数の良い面について、追加させていただきたい。さつまいももそうだが、子どもたちが主体的で、意見を出し合って自分たちで司会進行を進めていく活動が素晴らしいと、公開研究会の際、色々な学校の先生からお褒めいただいていると聞いている。そういったところは特筆すべき良い点として、活かしていっていただきたい。子どもたちのあいさつも素晴らしいと思う。まちの方も子どもたちの顔をよく覚えてくださっている。PTA も少ない人数の保護者であるが、学校の先生の協力し合い、活動している。 個人的なことだが、我が家は子どもが不登校である。少人数であるが故に手厚く温かく見守って居場所を作っていただいている。光明小の良さを、統合後の学校にたくさん持っていっていただいて、末成小の良さと合わせて、新しい学校にしていってもらえた

	らありがたい。 　全体の進捗状況の説明会はやっていただいてありがたいが、各組織でのロードマップのようなものを示していただきたい。それを全体会でシェアするようにしてもらえたら、皆の不安感が軽減されると思う。担当部署も示していただきたい。1年半しかないので、分かりやすくしていただけたらと思う。
事務局	少人数の良さというところについて。小さい規模の学校で大きな規模のことはできないが、大きな規模は、それを細分化することができる。光明小の良さは次の統合校にも必ず引き継がれるべきことである。特に光明小の「特活」は確かに今まで確立されてきたものであり、こうしたことは、しっかりと受け継がれていこうかと思う。 　また、確かに個別にお話しすべきところが出てくる。そこはしっかり個別にお話して、それを全体会で共有する仕組みで進めていく。また教育委員会だけでまちの動き全体を網羅することは難しいので、今日も市民交流部、子ども未来部（育成会の担当）、また防災、今後、地域に関係する部署がしっかりと皆様方に対してお応えしていく体制を作り、またそれがよく分かるようご提示していきたい。
参加者	今回、光明小学校で単学級が続いたからこの方向に踏み切られていると思うのだが、適正規模・適正配置の考え方、そういう一定の基準というのがあると思う。少子高齢・人口減少によって、幼稚園でも小学校でも、今後こういう統合を検討していくというのが増えていくのではないかと予想される。だから単学級が何年以上続いたら検討するとか、基準となるものを、市民に知らせていただきたいなと思う。基準に即して統合が検討されるというのがあらかじめ分かっていると、市民としても心積もりではないが、一定気持ちは仕方ないという方に傾いていくかなとも思う。急に出てくると「なんで」となるが、あらかじめ分かっていれば態勢が取れる。多分この基準というのは設けられているはずだと思うので、それをちゃんと市民に周知していただきたい。
事務局	確かに「宝塚市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」というものを作っているのだが、宝塚市民の何人がそれを見たことがあるのかというと、ごくごくわずかで、こんなお話をして初めて見ていただくという状況である。おっしゃっていただいたとおり、そろそろというときに心構えであるとか、子どもにどう話していけばいいのかというところが非常に重要になってこようかと思う。市民への周知は非常に重要であると今回いろんなご意見いただいて感じたので、そこはしっかりとお示しする方法を考えていきたい。ちょうど今、議論の具体は幼稚園についてなのだが、基本的には教育環境全体を考える審議会があり、まずそこに一度諮って、専門家の意見を聞きながら、周知方法も含めてしっかり検討していきたいと思う。
	【4 閉会】
事務局	時間が来たので、本日の意見交換会はこの程度とさせていただく。資料にご意見フォームの2次元コードを掲載しているので、この説明会を聞いた後に、これも聞いておけばよかった等があれば、こちらからまたご意見いただけたらと思う。いただいたご意見については、回答等をホームページ等でも発信していきたいと思っている。 　それでは皆様、たくさんのご意見等ありがとうございました。いただいたご意見につ

	いては教育委員会で整理して、検討していきたいと思うので、よろしくお願いする。 　また定期的にこういった場を設けさせていただこうと思うので、その際はまたご連絡するので、お忙しいところ恐縮ですが、またご参加いただけたらと思う。 　本日は皆さんご参加いただきましてありがとうございました。